



# 開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第 1 1 7 号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2017年10月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

## 平和の鐘を鳴らそう運動

国連総会は西暦 2000 年を「平和の文化国際年」と決めました。ユネスコは、この「平和の文化国際年」を推進する中心的役割を担っております。日本ユネスコ協会連盟は、国際年の意義を広く伝え、人々の心の中にある“平和の祈りと願い”を大きな力へと結集していくために、「わたしの平和宣言」と「平和の鐘（かね・おと）を鳴らそう運動」を継続して実施しております。

開倫ユネスコ協会では、8月12日(土)「平和の鐘を鳴らそう運動」を実施致しました。当日約680名(学生620名・大人60名)の参加者があり、「わたしの平和宣言」を読み上げ、思い思いに音を鳴らしました。

足利市においては、小曾根町の永宝寺では、高木堅持住職から「平和」の大切さについての講話をお聞きしたあと、約30名の参加者は平和を祈りながら鐘をつきました。

また、足利市家富町の鑿阿寺では、当協会の名誉顧問である参議院議員 上野通子様様の代理として、秘書様より平和の大切さが語られました。その後約20名の参加者は、平和を祈りながら鎌倉時代創建の歴史ある鐘をつきました。



永宝寺の鐘楼の前



鐘をついて、平和を祈る参加者



ばんな寺の鐘楼の前



鐘をつく参加者

## 日本大震災で倒れた陸前高田の松原の松と気仙杉を 再利用した靴ベラセットを寄付いただきました。

開倫ユネスコ協会は「平和の鐘を鳴らそう運動」の会場を毎年提供いただいております永宝寺（足利市小曾根町）の高木堅持住職より、このたび「東日本大震災の時に倒れた陸前高田の松原の倒木と、海水を被って枯れた気仙杉から制作された箱入りの靴ベラセット」を寄付頂きました。ぜひ沢山の人が出入りするところで使用して欲しいとお話でした。



高木堅持住職



この靴ベラセットは、陸前高田市の村上製材所より、復興でお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えるために制作されているもので、高木住職は、この気仙杉の箱の表書きに「ご縁に感謝」の文字を頼まれたそうです。

開倫ユネスコ協会が事務局を置いております開倫塾本部、また、今後学習の一環として生徒がユネスコ活動に参加する開倫塾日本語学校の玄関で、大切にに使わせて頂きます。

### 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟より 月1・いいことプログラムのご案内

世界には学校にいけない子どもたちが6100万人、読み書きできない15歳以上の大人が7億5800万人もいます。

#### 例えば

- 1,000円で…アフガニスタンでは、1人にひと月分の栄養補助食品を買えます。
- 5,000円で…カンボジアでは、10人がひと月学校に通えます。
- 10,000円で…ネパールでは、寺子屋に図書一式を設置できます。

月1・いいことプログラムは、“月1回のいいこと”で子どもたちの未来を支えるサポーターとして、「世界寺子屋運動」を支援することができます。

月々1,000円から始められるこの募金プログラムでは、上記の「世界寺子屋運動」の活動のほか、日本ユネスコ協会連盟が行う「世界遺産活動」「一杯のスプーン」「未来遺産活動」「子ども募金（青少年育成活動）」「東日本大震災 子ども支援基金（ユネスコ協会就学支援奨学金）」などの活動を指定して支援することができます。また、特定の活動を指定せず、日本ユネスコ協会連盟がおこなうユネスコ活動全般に活用することもできます。

詳しくは、日本ユネスコ協会連盟のwebサイトをご覧ください。